

APPBANK

BUSINESS REPORT

第12期 株主通信 2023.1.1 ▶ 2023.12.31

証券コード 6177

トップインタビュー

You are my friend!

令和6年1月1日に発生した能登半島地震によって被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。能登は私の故郷でもあります。被災された地域の皆さまの安全と、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

Q > 2023年度の総括をお願いします。

A | 「IPとのコラボレーションなどストア事業で大きな手応えを得る」(村井)

村井 大きなところとして2023年度では「収益拡大の実現フェーズ」という位置付けの下、「次なる成長の柱となる新規事業の確立」を目標とし、ストア事業とDXソリューション事業の収益化に取り組んできました。

その一例としてストア事業では、2023年7月から8月末までの2ヶ月間、資本業務提携先のSTPR社と一緒にあって、原宿の街全体をジャックするようなIPコラボレーションイベントを大々的に実施し、大成功を収めることができました。原宿竹下通りの「YURINAN -ゆうりんあん-」を拠点としたストア事業は3年目を迎えましたが、IPとのコラボレーション等々、従来の和カフェという枠組みを

代表取締役社長 CEO
村井 智建

取締役 CFO
白石 充三

大きく超えて、大きな手応えを得ることができたと実感しています。

一方、DXソリューション事業については、サービス拡充と体制増強は進んだものの、実際にサービスをご利用いただくアーティストさんやIP版元さまに対しての営業進捗に関し、満足のいくものとすることができませんでした。サービスを強化するという意味では手応えを感じながらも、数値的なところまで辿り着くことができなかったというのが2023年でした。

これらの結果、戦略的先行投資を継続・加速させたことも加わり、2023年度の業績は増収減益となりました。

Q > 今般の経営体制の変更についての背景や狙い等についてお聞かせください。

A 「ストア事業の一層のスケール化を推進する」(村井)

「株主さまの期待に応えるために全力で会社再生にチャレンジする」(白石)

村井 このたび取締役CFOの白石が代表取締役に就任し、社外役員も一新して新経営陣で臨む予定となりました。私は事業推進に専念することとなります。この決断の背景にあったのが、上場後10年経過後から適用される東証グロース市場の上場基準の1つである時価総額40億円以上の早期達成、というものでした。

この上場基準クリアに向けては、先にご説明したストア事業の更なる飛躍が重要なキーになると考えています。また同時に、いかんせん今の延長線上では原宿という場所の中での展開が中心になってしまい、時価総額40億円以上の達成には及ばないであろうことも真摯に捉えています。つまりは、この3年間育ててきたストア事業を残された猶予の中でいかにスケール(規模を拡大)させるかが、これからの当社にとっての命題となってくるのです。

このような考えの下、今回私は現場の陣頭指揮を執るプロデューサー的立場に就かせていただくこととなりました。幸いにもこの3年間における一連の取り組みを通じ、ストア事業のビジネスモデル(適切な商材と利益構造)はほぼ確立することができています。私なりのごつくばらん表現になりますが、私自身これからしっかり腹を決め、3年間ピカピカに磨いてきたこのストア事業をより大きなものにしていきたいと考えています。

白石 私自身、2020年4月にこのAppBankという会社の再生を成し遂げたいとの思いで入社した経緯があります。今まさに業績と株価の低迷によって、上場廃止基準に抵触するかもしれないという瀬戸際にいることを痛感するとともに、何かを変えるのであれば、今が最後のチャンスであると考えています。そして、このような重要なタイミングで経営を引き継ぐことに対しては、大変な責任も感じています。株主さまのご期待に応えるためにも、全力で会社再生にチャレンジしていきたいと考えています。

尚、村井からも話のあった東証グロース市場上場基準の維持に関連し、私の方からは昨年末の3bitter社(DXソリューション事業)売却について触れさせていただきます。同基準の維持適用まで残り2年もない中で、早期黒字化や業績改善、企業価値の向上、株価向上を考えた時、どうしてもこの段階で「事業の選択と集中」というものに着手せざるを得ませんでした。同社は将来が有望視されるものの、利益貢献までにはまだ一定の時間を要することから、苦渋の経営判断として同社売却に踏み切ったということ、株主の皆さまにはご理解いただけましたらと存じます。

Q > 今後の成長軌道への回復に向けた基本的考え方や取り組みについてはいかがでしょうか？

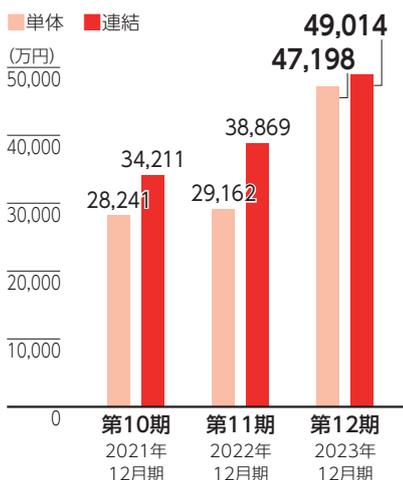
A 「『原宿×食べ歩き文化×IPコラボレーション』の発展を図る」(村井)

「新しいパートナーシップの中でプラスオンの収益機会を創出する」(白石)

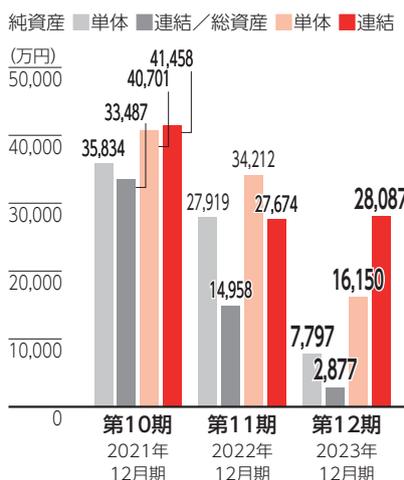
村井 当社の武器であるストア事業の進化と成長が続い

財務ハイライト

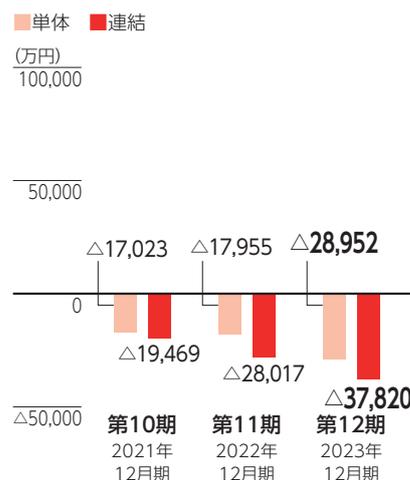
売上高



純資産/総資産



経常利益又は経常損失



ています。この3年間の様々なトライや実績を踏まえて、2023年12月下旬より、中核拠点の「YURINAN -ゆーりんあん-」はどら焼き専門店として生まれ変わり、IPコラボレーションの面では、IP版元さまの世界観反映に終わることなく、日本の伝統文化であるどら焼きをベースに新たな価値を提供していると自負します。また、最近ではインバウンド需要の本格回復を受けて、同店売上の約7割を外国人観光客が占め、「YURINAN -ゆーりんあん-」のどら焼きを片手に原宿の街を歩く外国人観光客の光景が益々広がっています。不遜ですが、当社による「どら焼きをプラットフォーム（メディア）とした新たな世界観・文化創造」「原宿からどら焼きという日本伝統文化の世界発信」、と表現できるかもしれません。



クロミとのコラボレーション（販売期間：2月1日～4月30日）

このようなストア事業の好調ぶりを受け、改めて私は、「原宿×食べ歩き文化×IPコラボレーション」という業態の発展・スケール化への想いを強くするに至っています。お陰さまで既に、IPコラボレーションは来年1月までのスケジュールが決まっているような状況です。また先程、白石から話があったように、3bitter社の売却を断行したことで当社の事業構造がシンプルになり、ストア事業に

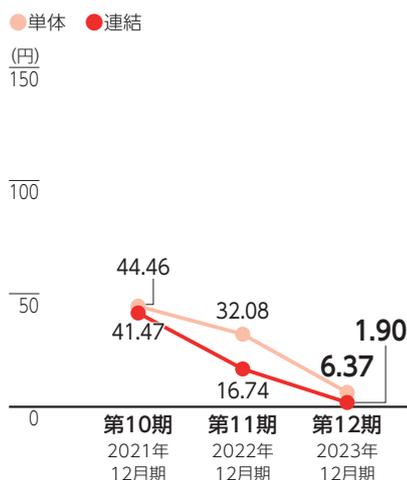
経営資源を集中しやすい環境ともなりました。今後は新しいパートナーの力も得ながら、且つ、原宿以外の多店舗展開・全国展開といった新しいアクションをも視野に入れながら、現場のみんなと一緒に、ストア事業の更なる進化と成長に努めてまいりたいと考えています。どうぞ今後の展開にご期待ください。

白石 当社は株主様のご期待に応えるためにも、力強く利益を出せる体制を目指します。そのために、今後数年間の成長戦略の策定に取り組んでいます。当社は昨年未からの3bitter社売却や事業部門の見直し等により、大きなコスト削減を実行済です。ここから先は成長戦略に基づいてトップライン、つまり売上高を伸ばし、力強く利益を出していく体制を作っていくと考えています。成長戦略については今後、適切なタイミングで発表していく予定です。

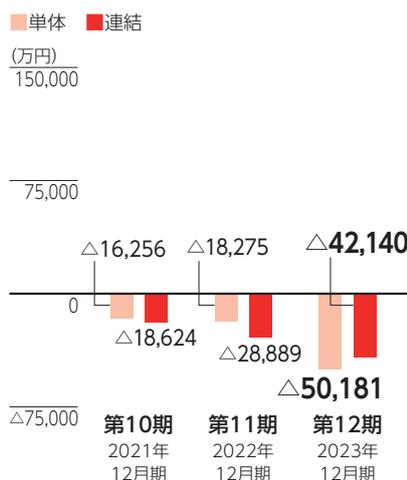
尚、既存事業の延長線上に新しいパートナーシップが加わっての売上拡大策も具体的視野に入ってきています。いま村井が手掛けている事業プラス、2月に発表した資金調達と新しいパートナーシップの中でプラスオンの収益機会を創出する計画であり、単なる拡大だけにとどまらない別の打ち手が出てくるものと、私自身期待を寄せているところです。

振り返れば2015年の上場以来、当社は株主さまの期待に応えることができなかった日々を送ってまいりました。これからの新しい経営体制の下、もう一度、株主さまから当社の成長性に対して期待感を持ってもらえるような、あるいは注目してもらえるような会社になりたいと思っています。今後とも変わらぬご支援の程を、何卒よろしくお願い申し上げます。

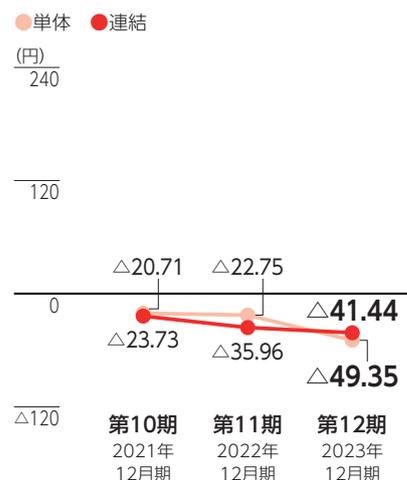
1株当たり純資産



(親会社株主に帰属する) 当期純利益又は当期純損失



1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額



会社データ／株主インフォメーション

会社概要 (2023年12月31日現在)

商号 AppBank株式会社
証券コード 6177
本社 東京都新宿区新宿2-8-5東弥鋼業ビル4階
設立 2012年1月
資本金 302,874,850円
従業員数 36名 (連結)
子会社 3bitter株式会社
加盟団体 一般社団法人日本インタラクティブ広告協会 (JIAA)

役員 (2023年12月31日現在)

代表取締役社長CEO 村井智建
取締役CFO 白石充三
社外取締役 上田祐司
社外取締役 (監査等委員) 倉西誠一
社外取締役 (監査等委員) 秋山政徳
社外取締役 (監査等委員) 井尾仁志

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
定時株主総会基準日 12月31日
期末配当金受領株主確定日 12月31日
単元株式数 100株

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としています。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<http://www.appbank.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所グロース市場 (証券コード: 6177)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

AppBank株式会社

〒160-0022
東京都新宿区新宿2-8-5東弥鋼業ビル4階
03-6302-0561 (代表)

株式の状況 (2023年12月31日現在)

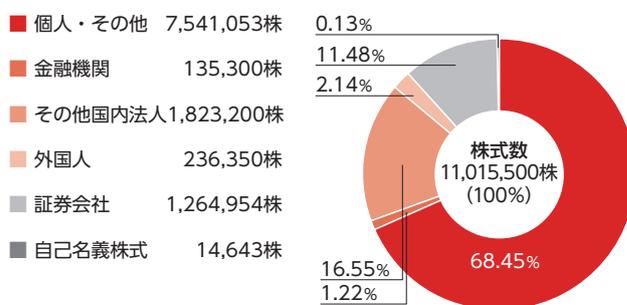
発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式総数 11,015,500株
株主数 5,781名

大株主 (2023年12月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
村井 智建	1,553,800	14.12
株式会社STPR	1,098,000	9.98
株式会社SBI証券	657,006	5.97
マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社	405,600	3.68
JPモルガン証券株式会社	266,000	2.41
上田八木短資株式会社	245,400	2.23
日本証券金融株式会社	135,300	1.22
松浦 貴美子	130,200	1.18
功刀 文宏	90,500	0.82
SOCIETE GENERALE PARIS / BT REGI STRATION MARC / OPT	84,700	0.76

(注) 当社は自己株式 (14,643株) を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除した上で小数点第3位を切り捨てて計算しております。

株式分布状況 (2023年12月31日現在)



コーポレートサイトのご紹介



投資家の皆さまに当社の情報をお伝えするために、成長戦略や財務情報などをご提供しております。



URL <http://ir.appbank.co.jp/ir/>

